

事 務 連 絡
令和 7 年 12 月 24 日

(別 記) 御中

厚生労働省医政局看護課

令和 7 年度厚生労働科学研究「看護職員の需給推計方法検討のための研究」
に係るアンケートについて（協力依頼）

平素から厚生労働行政の推進に格別のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

看護職員の確保に当たっては、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」（平成四年法律第 86 号）に基づく看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針において、医療提供体制等を踏まえた需給見通しに基づいて看護師等の養成を図るなど就業者数の確保に努めることとされており、看護職員の需給見通しは、看護職員確保の基本的な資料として、概ね 5 年毎に通算 8 回にわたり策定してきたところです。

この度、令和 7 年度厚生労働科学研究「看護職員の需給推計方法検討のための研究」において、医療機関や訪問看護事業所、介護施設等、看護職員が働く現場において看護職員の需給に影響を与える因子を明らかにするための調査を実施いたします。この結果をもとに今後厚生労働省において実施予定の看護職員の需給推計の検討に役立てられる予定です。

つきましては、貴会におかれましても本調査の趣旨をご理解いただき、本調査の概要を別紙にまとめておりますので、ご参照いただき、貴会会員の医療機関・施設に対して、周知および協力依頼いただきますようお願い申し上げます。なお、本通知は都道府県を通じて別添の事務連絡により医療機関・訪問看護事業所・介護福祉施設等に協力依頼しておりますので、重ねてお知らせいたします。

以上

（調査に関するお問い合わせ先）

厚生労働科学研究「看護職員の需給推計方法検討のための研究」

研究代表者：小林美亜（山梨大学大学院総合研究部 特任教授）

E-mail:k-mia@yamanashi.ac.jp

(別記)

公益社団法人 日本医師会

一般社団法人 日本病院会

公益社団法人 全日本病院協会

公益社団法人 日本精神科病院協会

一般社団法人 日本医療法人協会

公益社団法人 全国老人保健施設協会

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

公益社団法人 日本看護協会

一般社団法人 日本慢性期医療協会

一般社団法人 全国訪問看護事業協会

公益財団法人 日本訪問看護財団

公益社団法人 全国有料老人ホーム協会

一般社団法人 全国介護付きホーム協会

公益社団法人 日本認知症グループホーム協会

一般社団法人 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会

一般社団法人 全国介護事業者連盟

「看護職員の需給推計方法検討のための研究」概要

研究代表者：小林 美亜（山梨大学大学院 総合研究部 医学域 特任教授）

このたび、医療機関・訪問看護事業所・介護施設等の皆様を対象に、看護職員の需給推計に関する調査研究を実施いたします。本研究の趣旨および概要につきまして、以下のとおりご説明申し上げます。ご一読のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

1. 研究の背景と課題

これまで、看護職員の確保対策の一環として、将来の病床数や患者数・利用者数に基づく需給推計が行われてきました。しかし、近年では離職率の高さや人材確保の困難さが深刻化しており、看護職員の需要に影響を及ぼす要因をより正確に把握し、さまざまな条件に応じた推計手法を検討する必要があります。

その中でも特に課題となっているのは、労働環境の改善が将来の人員需要にどの程度影響するのかについて、十分な定量的評価がなされていない点です。たとえば、短時間勤務制度の推進や身体的負担の少ない勤務編成の適正化などの取組が実現すれば、離職率の低下や新たな人材確保につながる可能性があります。しかし、その効果が具体的にどのような需要変化をもたらすのか、因果関係を裏づけるデータや手法が不足しているのが現状です。

このため、国・都道府県・医療機関・訪問看護事業所・介護施設等が働き方改革を進めるにあたり、具体的な人員計画を策定することが難しい状況となっています。こうしたギャップを埋めることは、より精緻な人員計画の立案や、持続可能な医療・介護提供体制の構築に不可欠です。

2. 研究の目的と方法

本研究は、上記の課題を解決し、働き方改革が将来の看護職員需要に与える影響を明らかにすることを目的としています。

具体的には、皆様にご協力いただくアンケート調査を通じて、働き方改革に関する各種取組が看護職員の必要人数に与える影響を、現場のご経験・ご認識・実態データに基づいて定量的に把握すること、得られたデータを分析し、影響度の高い因子を特定して将来の需給シミュレーションモデルに反映することを目指します。

本研究によって、働き方改革のさまざまなシナリオに基づく将来需要のシミュレーションが可能となり、現場の負担軽減を考慮した需要推計手法の整備につながります。最終的には、質の高い医療・介護サービスを安定的に提供するための基礎資料を提示することを目的としています。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本研究の趣旨にご理解・ご賛同のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

3. アンケートの概要

本研究のアンケート調査は、**ウェブ方式による匿名・任意回答**です。本研究への協力は**自由意志に基づく任意参加**であり、協力いただけない場合でも、いかなる不利益も一切生じません。回答者の所在地を把握するため、**郵便番号のみ取得**いたしますが、個人または事業所を特定できる形で情報を公開することはありません。収集したデータは、**研究目的のみに使用**し、統計的に処理したうえで集計・分析を行います。個別の回答内容が外部に知られることは一切ありません。回答に要する時間は**15～30分程度**を想定しております。回答送信後には**回答ID**が自動発行され、このIDを用いることで、送信後であっても**回答内容の変更や取消が可能です**。詳細は別添の「アンケート回答手順書」をご確認ください。

4. 回答要領

1) **回答期限**：2026年2月9日（月）23:59まで

2) **回答方法**：

- ・インターネットアンケート方式です。「アンケート回答手順書」にあるURLまたは2次元コードからアクセスしてください。
- ・回答用URLは対象の属性により異なります。該当するものからご回答ください。
- ・病院・施設内に訪問看護部門を設置している場合は、**病院（施設）本体と訪問看護部門の双方でのご回答**をお願いいたします。

3) **情報の取扱い**：

収集した情報は本研究の目的以外には使用せず、分析終了後は**適切に保管・廃棄**いたします。

4) **ヒアリング調査のお願い**：

アンケート結果を集約した後、必要に応じて追加の**ヒアリング調査**をお願いする場合があります。その際も、参加は任意です。

5) **留意事項**：

- ・該当する選択肢にチェックをつけてください。
- ・「その他」を選択される場合は、できるだけ具体的にご記入ください。
- ・分岐のある設問では、設問内の指示に従ってご回答ください。

『 アンケート回答手順書 』

ご回答いただく前にご一読ください。

本アンケートは、回答時に付与されるIDを用いて、いつでも再開することができます。
以下の内容をご確認の上、回答を開始してください。

① 調査画面へのアクセス方法

以下のURLにアクセスすると「看護職員の需給推計方法検討に関するアンケート調査」というタイトル画面が表示されます。スマートフォン・タブレット端末からご回答の場合は、2次元コードからもアクセス可能です。

	URL	2次元コード
病院	https://jmar.post-survey.com/hospital/	
訪問看護事業所	https://jmar.post-survey.com/houmon/	
介護事業所・施設	https://jmar.post-survey.com/kaigo/	

② IDの取得方法：以下の手順に従って、IDを取得してください。

- URLにアクセスすると「アンケートに回答しますか」という画面が表示されます。
- 「はじめから回答する」を選択するとID取得画面に遷移します。
- 表示されるID情報を必ず控えてください。このIDを用いることで、回答の中断・再開、回答後の回答修正も可能になります。

③ 回答の実施

- 「次へ」を押下すると回答画面に遷移しますので、最後まで質問にご回答ください。
- 回答の再開方法
 - ・URLにアクセスすると「アンケートに回答しますか」という画面が表示されます。
 - ・「続きから回答する」を選択するとID入力画面に遷移しますので、事前に控えたID情報をご入力ください。

ID情報に誤りがある、またはID情報を紛失した場合は、最初から回答いただくことになりますのでご注意ください。